

8) 不育症と人工妊娠中絶

慶應義塾大学病院

産婦人科

牧野恒久

根本泰子

【はじめに】

当院の不育症外来では、2000余名の登録患者を有しているが、今回、我々は人工妊娠中絶の実態に関するアンケートを行うとともに、サブテーマとして不育症と人工妊娠中絶について、すなわち人工妊娠中絶が流産に関係するかについて検討した。

不育症は、妊娠が成立しても流死産となり生児を得られない場合を指すが、人工妊娠中絶が不育症の原因となるという報告はない。

【方法と結果】

1994年12月1日から1995年2月28日までの3ヶ月間に、当院産婦人科外来を受診した20～50歳までの初診患者344名を対象としてアンケート調査を行った。

このうち妊娠歴を有する患者は159名(46.2%)、総妊娠回数332回であった(図1)。

この中で人工妊娠中絶歴を有する患者は60名(37.7%)、既婚者46名、未婚者14名であった(図2)。

【流産率】

流産率 = $\frac{\text{のべ流産回数}}{\text{のべ妊娠回数} - \text{のべ人工妊娠中絶回数}}$

流産率は成書では全妊娠回数の10～20%とされているが、今回の調査では全妊娠数332回中、流死産数69回で20.8%とほぼ過去10年間の当院の統計と同様であった。

しかし、妊娠の結果のわからない人工妊娠中絶を除く248回の妊娠を分母とすれば、27.8%と、望まれた妊娠にもかかわらず3割近くが流死産に終わっているという結果であった。

【人工妊娠中絶の既往と流産】

人工妊娠中絶の既往がない患者と、既往がある患者の流産率を比較した(図3)。

人工妊娠中絶の既往のない患者

流産率 = $\frac{\text{のべ流産数}}{\text{のべ妊娠数}}$

人工妊娠中絶の既往がある患者

流産率 = $\frac{\text{初回妊娠中絶後ののべ流産数}}{\text{初回妊娠中絶後ののべ妊娠数} - \text{人工妊娠中絶した妊娠数}}$

これによると、人工妊娠中絶したことのない人の流産率が27.1%なのに対し、人工妊娠中絶後の妊娠が流産となるのは、48.5%で、有意に高かった($p=0.0233$)。

【人工妊娠中絶と次回妊娠の予後】

妊娠の前後関係だけに着目して、正常分娩後の妊娠予後と人工妊娠中絶後の妊娠予後を比較した(表1)。

これによると普通分娩した後の妊娠が流産となるのは12.33%であるのに対し、人工妊娠中絶後の流産は63.16%と高く、両者間に有意差を認めた($p=0.0001$)。

【考察】

今回のアンケート結果から、人工妊娠中絶と流産に関して以上の結果が得られたが、妊娠

年齢やそれぞれの患者の流産のリスクファクターについての検討がなされていないため、単純にいえないが、人工妊娠中絶後に流産がおりやすい傾向はあるといえよう。

実際に、流産でも人工妊娠中絶でも、子宮内清掃術後の子宮内膜の癒着（Asherman症候群）がおこる可能性はあり、これが不育症の一原因となることは充分考えられる。ただし、不育症外来でみている限り、Asherman症候群が流産の原因と思われる症例は極めて少ない。

今後、人工妊娠中絶と流死産についてさらに検討していく必要があるだろう。

また、今回のサブテーマとは関係ないが、人工妊娠中絶後に不妊症を主訴として当院を受診したと思われる症例を11例認めた。不妊症ではパートナーの因子もあるだろうが、避妊を考えない性交渉は、STDとくにクラミジア感染の機会も増やすことになり、卵管の癒着や閉塞など女性の不妊因子に関連している可能性もある。

最後に、母体の出産年齢の高齢化、少産少死の社会的傾向を考えると、特に結婚する前の人工妊娠中絶が母体の健康や次世代の母性父性を担う青少年の精神面に与える影響は少なからずあるといえ、人工妊娠中絶が法的にも倫理的にも比較的ルーズになった我が国の現状は改めて見直されるべきと考える。

表.1. 人工妊娠中絶と次回妊娠の予後

前回妊娠	次回妊娠予後			流産率 (%)
	普通分娩	流産	流産	
普通分娩	64	9		12.33
人工妊娠中絶	7	12		63.16

図1. 対象：20～50歳までで当院を初診した患者 (n=344)

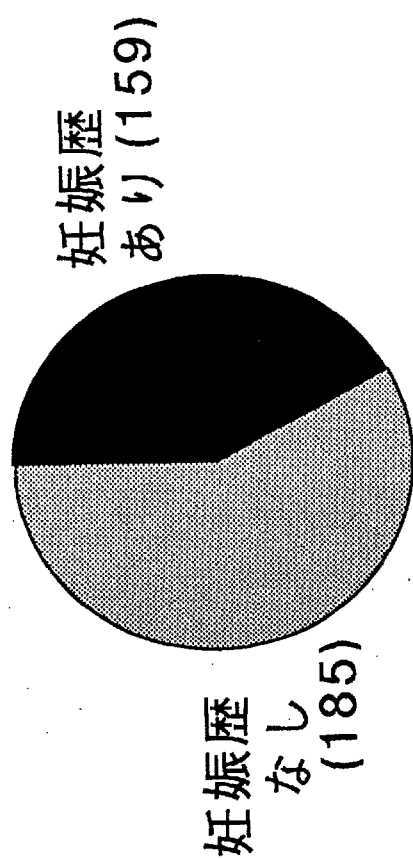


図2. 人工妊娠中絶の有無 (n=159)

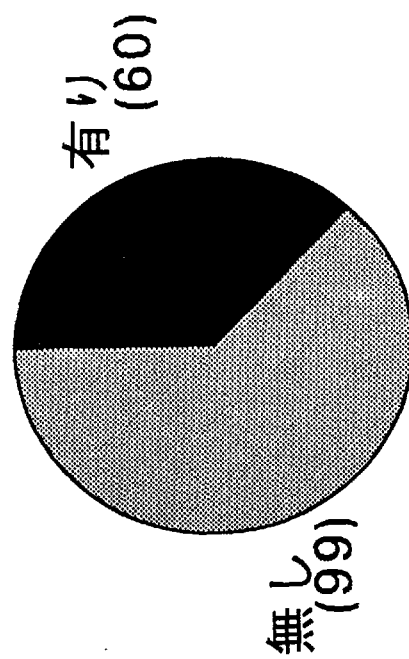
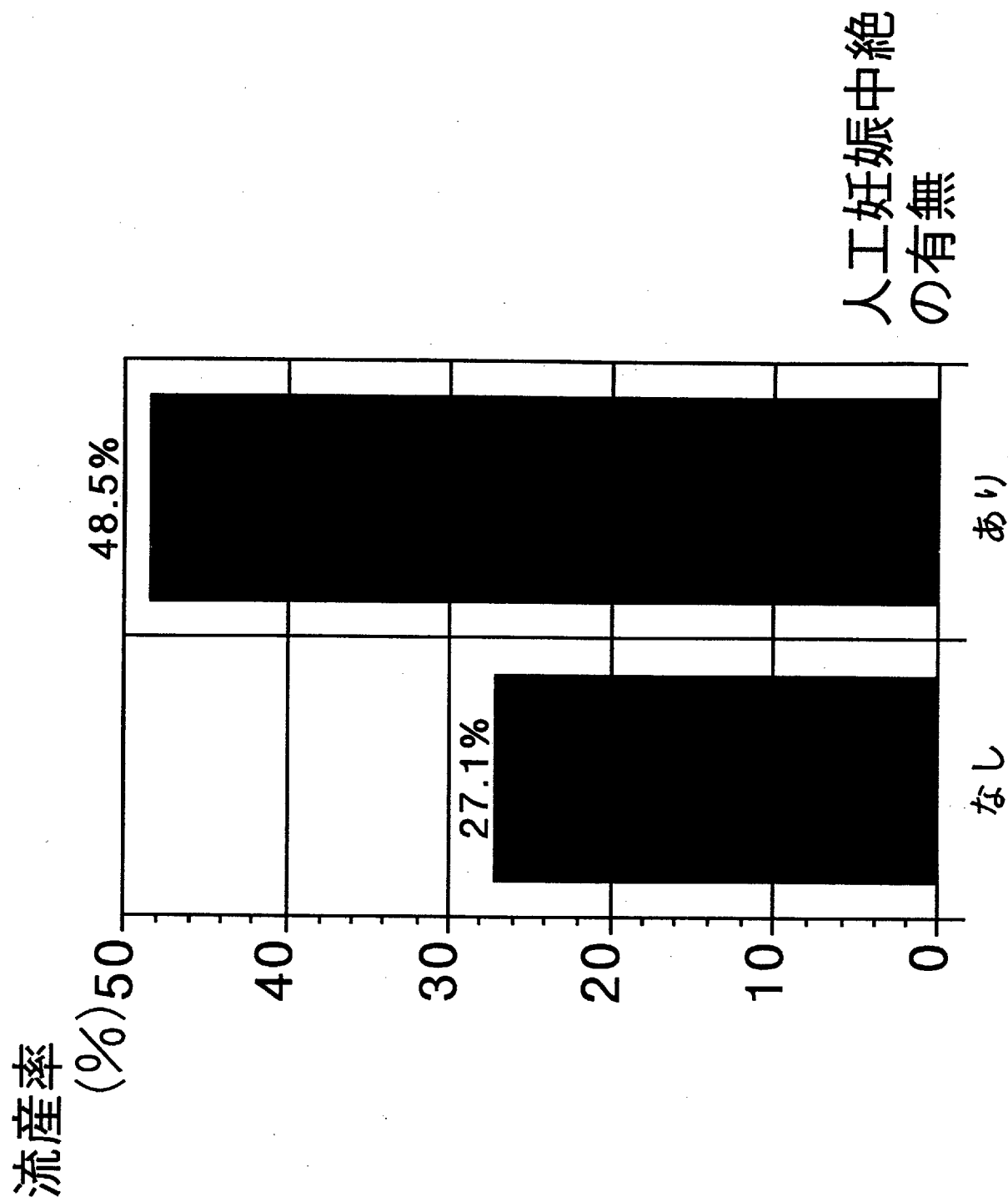
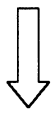


図3. 人工妊娠中絶の有無と流産率の関係





検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



[はじめに]

当院の不育症外来では、2000 余名の登録患者を有しているが、今回、我々は人工妊娠中絶の実態に関するアンケートを行うとともに、サブテーマとして不育症と人工妊娠中絶について、すなわち人工妊娠中絶が流産に関係するかについて検討した。

不育症は、妊娠が成立しても流死産となり生児を得られない場合を指すが、人工妊娠中絶が不育症の原因となるという報告はない。